

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	リアルバリュー不動産鑑定株式会社
北(都)-7	東京都	区部第9	氏名	不動産鑑定士 末原 伸隆
鑑定評価額	57,700,000 円		1 m ² 当たりの価格	607,000 円/m ²

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 7年 7月 1日	(4)鑑定評価日	令和 7年 7月 1日	(6)路線価	[令和 7年 1月]	470,000 円/m ²
(2)実地調査日	令和 7年 6月 15日	(5)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率 倍率種別	倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		北区豊島八丁目27番19 「豊島8-13-1」				地積 (㎡)	95 ()	法令上の規制等				
	形状	敷地の利用の現況		周辺の土地の利用 の状況		接面道路の状況	供給 処理施設 状況	主要な交通施設との 接近の状況		1 住居 (60, 200) 準防 高度(2種)			
	1:2	共同住宅 W2		一般住宅、共同住宅 等が建ち並ぶ住宅地 域		南6.2m区道	水道、 ガス、 下水	王子神谷 470m		(その他) (70, 200)			
(2) 近隣 地域	範囲	東 20 m、西 50 m、南 20 m、北 15 m								標準的使用 低層住宅地			
	標準的画地の形状等		間口 約 7 m、奥行 約 14 m、規模 100 ㎡程度、形状 長方形										
	地域的特性	特記 事項	特にない			街 路	基準方位 北6.2m区道	交通 施設	王子神谷駅 東方470m		法令 規制	1 住居 高度(2種) (70, 200) 準防	
	地域要因の 将来予測	小規模な戸建住宅、共同住宅が建ち並ぶ住宅地域であり、周囲に特段の開発動向はないが、一般的要因の影響を受け、地価は当面上昇基調で推移するものと推測する。											
(3)	最有効使用の判定		低層住宅地					(4)対象基準地 の個別的要 因	方位		+5.0		
(5)鑑定評価の手法 の適用	取引事例比較法		比準価格 625,000 円/㎡										
	収益還元法		収益価格 410,000 円/㎡										
	原価法		積算価格 / 円/㎡										
	開発法		開発法による価格 / 円/㎡										
(6)市場の特性	同一需給圏を、北区内の京浜東北線沿線及び東京メトロ南北線沿線の住宅地域と判断した。主な需要者は都心へ通勤する一次取得者層が想定される。住宅供給は既存住宅の建て替えが多いが、ミニ開発による建売住宅も多く、60～70㎡程度の規模を標準として、土地価格で3000万円台前半～4000万円台半ば、新築戸建総額で5000万円台半ば～7000万円台半ばが中心価格帯となる。												
(7)試算価格の調整・ 検証及び鑑定 評価額の決定の 理由	地域内にアパート等の収益物件も多く見られるが、地価に見合う賃料水準の設定は難しく、収益価格は比準価格に比して低位に試算された。対象基準地について、需要の中心は自己使用目的の最終需要者であると判断され、収益性よりも市場性が重視される。よって、市場性が反映された比準価格を重視し、収益価格を比較考量し、指定基準地及び類似する標準地との均衡、単価と総額の関係も留意の上、鑑定評価額を上記の通り決定した。												
(8) 公示 価格 とした	代表標準地 標準地番号 北-9		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の規準価格 (円/㎡)	内 訳	標準化 補正	街路 0.0 交通 0.0 環境 0.0 画地 +2.0 行政 0.0 その他 0.0	地域 要因	街路 -1.5 交通 -6.3 環境 +1.0 行政 -2.0 その他 0.0	
	公示価格 516,000 円/㎡		[104.0] 100	100 [102.0]	100 [91.4]	[105.0] 100	604,000			標準化 補正		街路 0.0 交通 0.0 環境 0.0 画地 +2.0 行政 0.0 その他 0.0	街路 -0.9 交通 +1.0 環境 +27.0 行政 -2.0 その他 0.0
(9) 指定 基準 地の 検討	指定基準地番号 北(都)-2		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の比準価格 (円/㎡)	内 訳	標準化 補正	街路 0.0 交通 0.0 環境 0.0 画地 +2.0 行政 0.0 その他 0.0	地域 要因	街路 -0.9 交通 +1.0 環境 +27.0 行政 -2.0 その他 0.0	
	前年指定基準地の価格 681,000 円/㎡		[107.9] 100	100 [102.0]	100 [124.6]	[105.0] 100	607,000			標準化 補正		街路 0.0 交通 0.0 環境 0.0 画地 +2.0 行政 0.0 その他 0.0	街路 -0.9 交通 +1.0 環境 +27.0 行政 -2.0 その他 0.0
(10) 対象 基準 地の 前か	-1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 556,000 円/㎡				価格 変動 状況 要因の	一般的 [要因] 北区の人口は微増、世帯数は増加傾向となっている。住宅地の取引件数は概ね横ばい、取引価格は上昇傾向にある。							
	-2 基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 代表標準地 標準地 標準地番号 公示価格 円/㎡					[地域] 地域要因に特段の変動はない。							
	変動率 年間 +9.2 % 半年間 %					[個別的] 南向き画地であり、日照条件等に優れる。個別的要因に変動はない。							